

武豊町長 粕山芳輝様

平成22年11月22日
日本共産党武豊町議団
団長 梶田 稔

子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進臨時交付金（仮称）の具体化について
（申し入れ）

11月16日、衆議院を通過した平成22年度補正予算において、子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進臨時交付金（仮称）1,085億円余が可決され、いよいよ実施の運びとなりました。

事業の概要は、子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、肺炎球菌ワクチンの3種で、都道府県に基金を設置し、市町村の事業に対して助成することになっています。

また、負担割合は国が1/2、市町村1/2で、基金の期間は平成23年度末までとなっています。

事業費内訳としては、ヒブワクチンが初年度45億円、23年度560億円、肺炎球菌ワクチンが初年度70億円、23年度800億円、子宮頸がんワクチンが初年度110億円、23年度580億円などとなっています。

つきましては、可及的速やかに実施するために、次のとおり、申し入れます。

記

1. 3種ワクチン接種事業を円滑に実施するために、町医師会等関係医療機関と速やかに協議し、実施体制を確認すること。
2. 早急に町予算の補正を準備し、22年度中にも実施できるよう予算措置を講ずること。また、引き続いて平成23年度当初予算に必要経費を計上すること。
3. 臨時交付金として、平成23年度末を期限としている国の制度ではありますが、3種ワクチン接種事業の重要性に鑑み、平成24年度以降も当事業を継続するよう措置すること。
4. 3種ワクチン接種事業の実施を決定した場合、町広報誌などで事業内容を速やかに住民に周知徹底すること。

以上

追記：関連資料として、別紙を添付しましたので、ご参照ください。